

## 防災担当者会議報告

開催日：2018年7月21日（土）10時～

7月度の防災担当者会議は、まず實光会長から「6月18日に発生した大阪府北部地震は、神戸は結果的に震度4だったが、マンションによってはエレベーターが止まった所もあって、対応が分かれた。あの時、防災ご担当の皆さんは出勤中の方も多かったと思うので、マンションにおられる誰かに対応してもらうために、どんなマニュアルにするべきなのかを中心に話し合っただけ」との挨拶があり、4つのテーブルに分かれて話し合いが持たれました。

1時間近い話し合いの後、参加者からこんな報告がありました。

- ・「阪神・淡路大震災未経験の若い方には新鮮な体験の機会だったと思う」
- ・「避難の際にお手伝いを望まれる方と、普段から連絡を取っておくことが大切だと感じた」
- ・「住人に安心を与えるためにも“対策本部設置宣言”をアナウンスしたほうが良い」
- ・「揺れを感じた後、まずお風呂に水をはり飲み水を確保した」
- ・「11名の防災ボランティアが集まってきて、安否確認が取れた」
- ・「新任の理事会に引き継いだら、防災活動については、また0からのスタートになる」

最後に實光会長から、今後の防災活動に必要なこととして、

『みんなに動いてもらうために、“旗を振る役の、リーダーの存在が必要である』

『同じマンション内でのお付き合いが大切である』

『六甲アイランドは安全な街であることを共通認識として持ってほしい』

とお話があり、7月の防災担当者会議を終えました。

ほかに、ウエスト21街区から防災マニュアル改訂の報告がありました。